

## 鹿兒島県薩摩半島からヒメアカイソモドキ（モクズガニ科）の記録

前之園唯史

〒 901-2111 沖縄県浦添市経塚 1-4-5 102 株式会社かんきょう社

## Abstract

A single male specimen of varunid crab, *Sestrostoma depressum* (Sakai, 1965), was collected from the Satsuma Peninsula, Kagoshima Prefecture, southern Japan. The present specimen represents the first record of the species from the mainland of Kagoshima Prefecture.

## はじめに

ヒメアカイソモドキ *Sestrostoma depressum* (Sakai, 1965) は、モクズガニ科のヒライソガニ亜科に属する小型のカニ類である。本種の生態については不明な点が多く、アナジャコ類やスナモグリ類の巣穴から採集されることもあるが（邊見・伊谷, 2018）、本種単独で採集されることもあり、複数個体が同時に採集されることも珍しくない（前之園, 2023）。本種の採集記録は日本国内（房総半島から沖縄県宮古島まで）に限られ（前之園, 2023）、鹿兒島県ではトカラ列島の中之島から採集されている（黒江, 1996）。

このたび筆者は、薩摩半島の南端に位置する指宿市において本種の標本を採集したため、鹿兒島県本土からの初記録としてここに報告する。

## 材料と方法

本研究で使用した標本は、70% エタノールの液浸標本として琉球大学博物館、風樹館（RUMF: Ryukyu University Museum, Fujukan）に収蔵されている。標本の大きさは甲長×甲幅で表した。

## 結果

***Sestrostoma depressum* (Sakai, 1965)**

ヒメアカイソモドキ

(Fig. 1)

**検討標本** RUMF-ZC-7851, 雄 (3.4×3.9 mm), 鹿兒島県指宿市山川児ヶ水漁港近く, 2025年1月2日, 前之園唯史採集。

**形態および同定** 検討標本が持つ次の特徴は、先行研究（Sakai, 1965, 1976; Davie and Ng, 2007; 前之園, 2023）で示されたヒメアカイソモドキの特徴とよく一致する：甲背面の膨らみは弱く、背表面は点刻と微細な顆粒で覆われる（Fig. 1B）；甲の周縁は、顆粒が密集した板状に縁取られる（Fig. 1A, B）；雄の眼下域には5つの顆粒が並び、内側と外側の顆粒は小さく、中央の3個は大きい（Fig. 1D）；頭胸甲側面の肢上部（epimeron）は、背面から確認できない（Fig. 1A, B）；第3顎脚を閉じると口腔は完全に覆われる（Fig. 1C）；鉗部を閉じると不動指と可動指の先端は接する（交差しない）（Fig. 1C, D）；雄の尾節の基部縁は直線状（Fig. 1C）。

**採集環境** 検討標本は砂泥底質の転石帯で採集された。転石下の底質をタモ網で掬った際に採集されたため、本個体が転石の下に潜っていたのか、底質中に埋っていたのか不明である。

**備考** 前之園（2023）は、宮崎県における本種の記録を「具体的な採集データが不明」とした

Maenosono, T. 2025. Record of *Sestrostoma depressum* (Sakai, 1965) (Varunidae) from the Satsuma Peninsula, Kagoshima Prefecture, Japan. *Nature of Kagoshima* 52: 5–6.

☑ TM: Kankyosha, 1-4-5 102 Kyozuka, Urasoe, Okinawa 901-2111, Japan (e-mail: maenosono@kankyo-sha.co.jp).

Received: 1 May 2025; published online: 1 May 2025; [https://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK\\_052/052-002.pdf](https://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK_052/052-002.pdf)

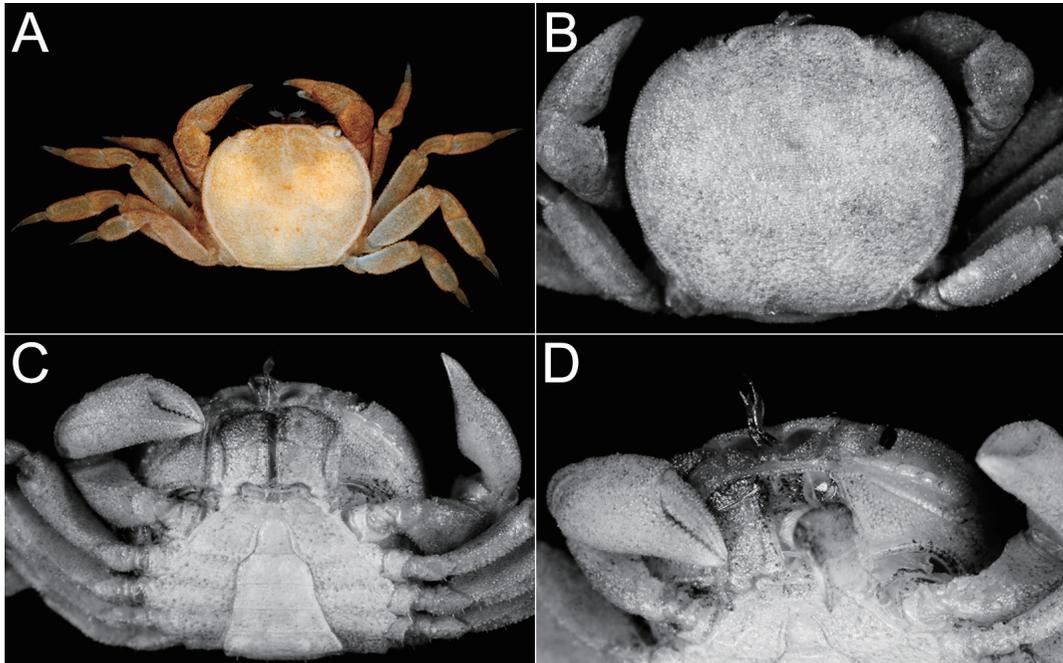


Fig. 1. *Sestrostoma depressum* (Sakai, 1965) collected from the Satsuma Peninsula (RUMF-ZC-7851, male, 3.4 × 3.9 mm). A, entire animal, dorsal view; B, carapace, dorsal view; C, cephalothorax and pleon, ventral view; D, left suborbital and pterygostomial regions, ventral view.

が、外山（2018）に同県門川町の標本が報告されていた。

## 謝 辞

標本の収蔵に際してご協力いただいた成瀬貫氏（琉球大学熱帯生物圏研究センター）にお礼を申し上げます。

## 引用文献

- Davie, P. J. F. and N. K. Ng, 2007. Two new subfamilies of Varunidae (Crustacea: Brachyura), with description of two new genera. In: S. H. Tan and P. K. L. Ng (eds.), Crustacean Supplement I. The Raffles Bulletin of Zoology, Supplement 16: 257–272.
- 邊見由美・伊谷 行, 2018. ヒメアカイソモドキ. 高知県レッドデータブック（動物編）改訂事業改訂委員会（編）, 高知県レッドデータブック 2018 動物編. p. 134, 高知県林業振興・環境部環境共生課, 高知.
- 黒江修一, 1996. トカラ列島・中之島の動物資料収集記録. 鹿児島県立博物館研究報告 15: 61–67.
- 前之園唯史, 2023. 琉球列島におけるメガテンガニおよびヒメアカイソモドキ（十脚目:短尾下目:モクズガニ科:ヒライソガニ亜科）の新産地記録. 沖縄生物学会誌 61: 53–58.
- Sakai, T., 1965. The Crabs of Sagami Bay collected by His Majesty the Emperor of Japan. Biological Laboratory Imperial Household (ed.), Maruzen, Tokyo.
- Sakai, T., 1976. Crabs of Japan and the Adjacent Seas. Kodansha, Tokyo.
- 外山真樹, 2018. 三浦知之氏寄贈甲殻類標本目録. 宮崎県総合博物館研究紀要 38: 5–72.